

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島県大竹市立栗谷小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒739-0645

E-mail : kuritani@fch.ne.jp

Website : http://members.fch.ne.jp/kuritani/

児童生徒数：男子 3 名 女子 5 名 合計 8 名
 児童・生徒の年齢 7歳～11歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① 【川の生き物調査】 6月4日

始めに、水生生物調査による水のきれいさをはかる方法を学習した。その後、水質調査（バックテスト）の方法による川の調査を月1回程度行った。併せて、石の裏についている生物を観察し、数・大きさを測定し、指標とした。その後、学校近くの玖島川の調査と、三倉岳水系の川の調査を行った。違う箇所での調査結果を比較した。

② 【コシアカツバメの観察】

学校の周りの田んぼは緑、山の緑が目に見え鮮やかなとても素敵な季節になり、今年も、小学校の校舎の軒下に「コシアカツバメ」がたくさん巣を作っている。栗谷小学校では、市街地ではあまり見かけないひとまわり大きい「コシアカツバメ」をたくさん見ることが出来る。1・2年生が、「コシアカツバメ」の飛来から巣立ちまでの観察を継続して行った。

③ 【野鳥観察】 7月16日

野鳥の観察の仕方や栗谷で観察できそうな野鳥の種類・鳴き声などについて映像や音声で事前学習し、実際に三倉岳のふもとで双眼鏡を使って観察した。午後の暑い時間だったので、野鳥がなかなか見つからなかった。観察するには、活動の時間が大事だと分かった。「ホオアカ」や木の上の巣や、鳴き声だけの「オオルリ」を観察することができた。

④ 【巣箱外し】

11月22日（金）、2月に校内と三倉岳のふもとの林にかけた巣箱を外した。

外した巣箱を観察すると、三カ所の巣箱をシジュウカラ・ヤマガラが使っていた。

広島県森林インストラクターの先生から、使われていなかった巣箱の場所、次回場所を変えることなどのアドバイスをいただいた。

また、巣箱をなぜかけるのかなどを、紙芝居で教えていただいた。

栗谷小学校は、30年以上、巣箱をかけて野鳥の保護活動をしている。これからも先輩達の活動を受け継いで続けていく。

2月の巣箱かけでは、野鳥が入りやすい、巣作りをしやすい場所を選んでかけることを学んだ。

また、三倉岳のふもとは、巣箱の設置場所が分からなくなりやすい。探すのに時間がかかった。今回の体験を通して、子どもたちが、設置場所の写真を撮り、地図に場所と使用したかどうかを残しておくという良いことに気付いた。

⑤ 【ネイチャーゲーム】

1月14日に広島市ネイチャーゲームの会より講師に来ていただき、身近な木や花や虫等自然の生きもの・植物の楽しみ方を教えていただいた。

自然でたくさんの遊びができ、新鮮な経験と発見ができ、驚きであった。木の芽やふしなどを使った「自然の美術館」では、普段見過ごしているものに目を向け、観察する力がついた。

⑥ 【みずどり探鳥会】 1月22日

毎年行っている水鳥探鳥会を行った。

栗谷にすんでいる野鳥と水鳥を比べたり、昨年の様子と比べたりした。

小瀬川河口小島新開周辺で、講師の先生から、観察の仕方や、住んでいる場所などのお話を聞いた。

野鳥を保護する気持ち・実がつく木を植え保護している話などを聞いた。

保護活動をしている思いやこのような活動をしている方が身近におられることを知ることができ、自分たちの保護活動と関連付けることができた。

⑦ 【巣箱かけ】 2月19日

校内2ヶ所、三倉岳のふもとに4ヶ所、計6ヶ所巣箱をかけた。巣箱外しの時の経験を生かした。巣箱の前が開けている場所や昨年入らなかったところを除き、場所を忘れない

ように写真に残した。また、6年生が卒業後下級生が伝統を守っていけるように、5年生以下の児童も、はしごに登る経験や、麻ひもを結ぶなど、何度も失敗を繰り返しながらも巣箱をかけていた。卒業生の講師から、自分たちが活動していたころの話や、30年以上続いていることを聞いた。野鳥保護の大切さや、先輩から受け継いでいる重みを感じ、後輩に引き継いでいこうという思いを強めた。

⑧ 学習内容の発表

○学習発表会

学習発表会では、各学年で学習した内容を、劇、グラフ・絵、クイズなどにして発表した。

○1・2年生のコシアカツバメの観察を広島県科学研究作品に応募し、入選した。

広島県科学賞 入選 「今年もやってきた コシアカツバメ」

○全日本川柳 2013 青森ジュニア部門に応募し、入選した。

「森の中 すばこをかけて かんさつだ」

学習したことを様々な場で発表することで、再度、まとめたり考察したりすることができた。

⑨ ESD カレンダーの作成

今年度は、生活科・総合的な学習の時間と他教科との関連を整理し、体験が生かせる取組となるようESDカレンダーを作成した。

このことで、学年の系統性や、他教科・領域との関連性が整理でき、一歩進んだ取り組みとなった。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()